

## § 1 比例、反比例の利用

《P99 例 1 紙の重さから、その枚数を求める》

コピー用紙 1200 g 分の枚数を求める。

コピー用紙  $x$  g 分の枚数を  $y$  枚とすると、

$y$  は  $x$  に比例するので、

と表される。

コピー用紙 50枚の重さが 160 g であれば、

よって、

この式に、 $x=1200$  を代入して、

《P99 問 1 (1)》

コピー用紙 960 g 分の枚数を求める。

例 1 の式に、 $x=960$  を代入して、

## 《P99 問 1 (2)》

コピー用紙の厚さ  $x$  mm 分の枚数を  $y$  枚とすると、  
 $y$  は  $x$  に比例するので、  
と表される。

コピー用紙 500 枚の厚さが 45 mm であれば、

よって、

この式に、 $x=36$  を代入して、

## 《P100 例 2 列ごとのいすの数を求める》

体育館に、いすを 480 脚並べる。

1 列に  $x$  脚ずつ、 $y$  列並べるとすると、  
となり、

と表され、 $y$  は  $x$  に反比例する。

1 列に 20 脚ずつ並べたときの列の数は、  
この式に、 $x=20$  を代入して、

## 《P100 問 2》

並べる列の数は、1 列に並べるいすの数に  
するから、1 列に並べるいすの数を半分にすると、  
列の数は になる。

## 《P101 基本のたしかめ1》

(1) ( )

(2) ( )

(3) ( )

## 《P101 基本のたしかめ2》

(1)  $y$  は  $x$  に比例しているから、

$x=2$  のとき  $y=-4$  だから、

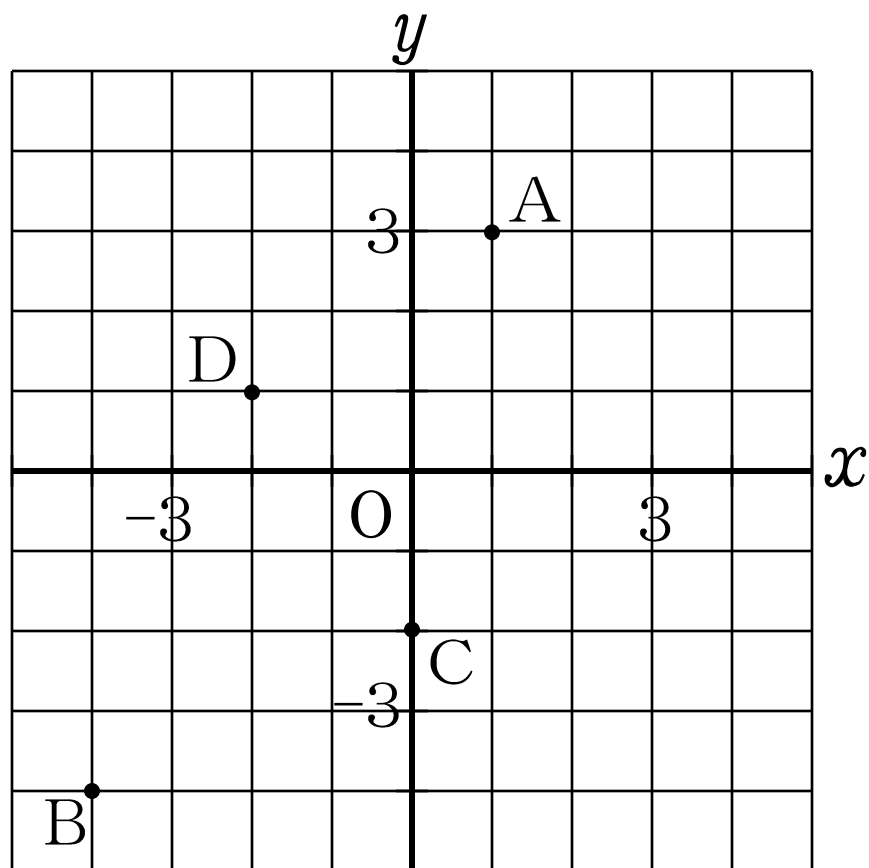
したがって、

(2)  $y$  は  $x$  に反比例しているから、

$x = -6$  のとき  $y = 8$  だから、

したがって、

# 《P101 基本のたしかめ3》



A (      ,      )

B (      ,      )

C (      ,      )

D (      ,      )

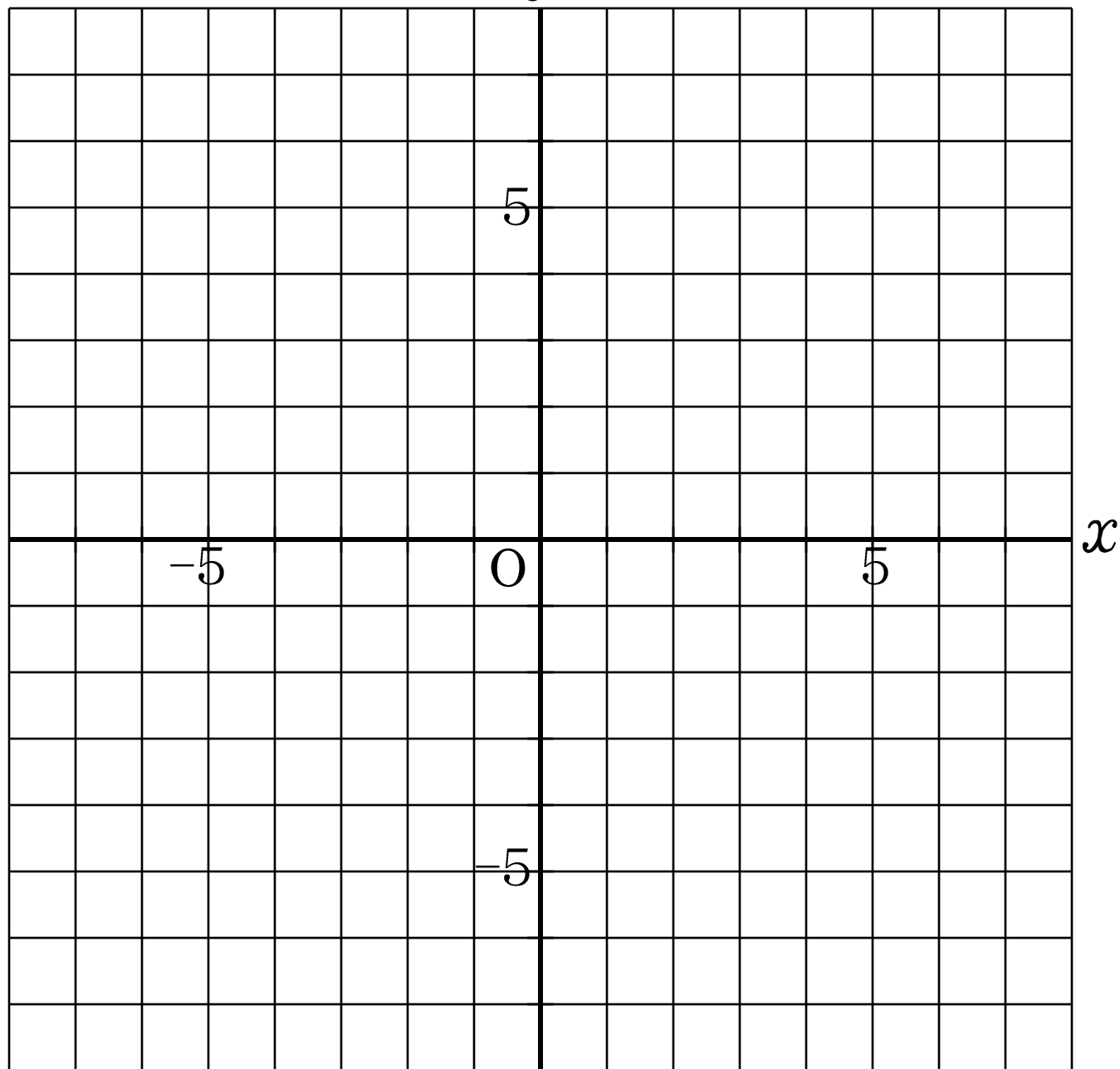
《P101 基本のたしかめ4》  $y$

①  $y = -4x$

②  $y = \frac{1}{2}x$

③  $y = \frac{8}{x}$

④  $y = -\frac{8}{x}$





# 《P102 章末問題 1》

(1)

(2)

(3)

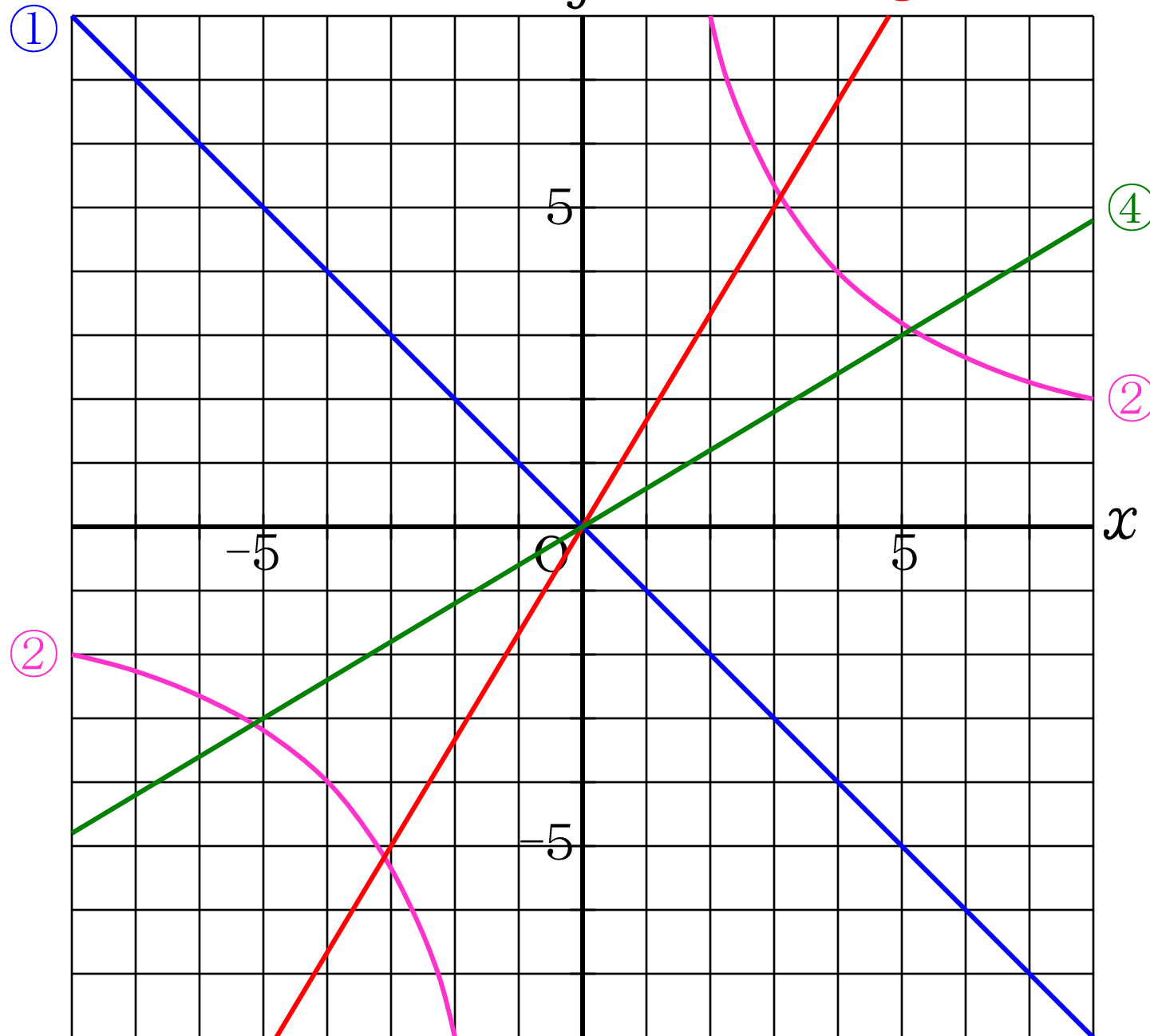
# 《P102 章末問題 2》

①

②

③

④



④

②

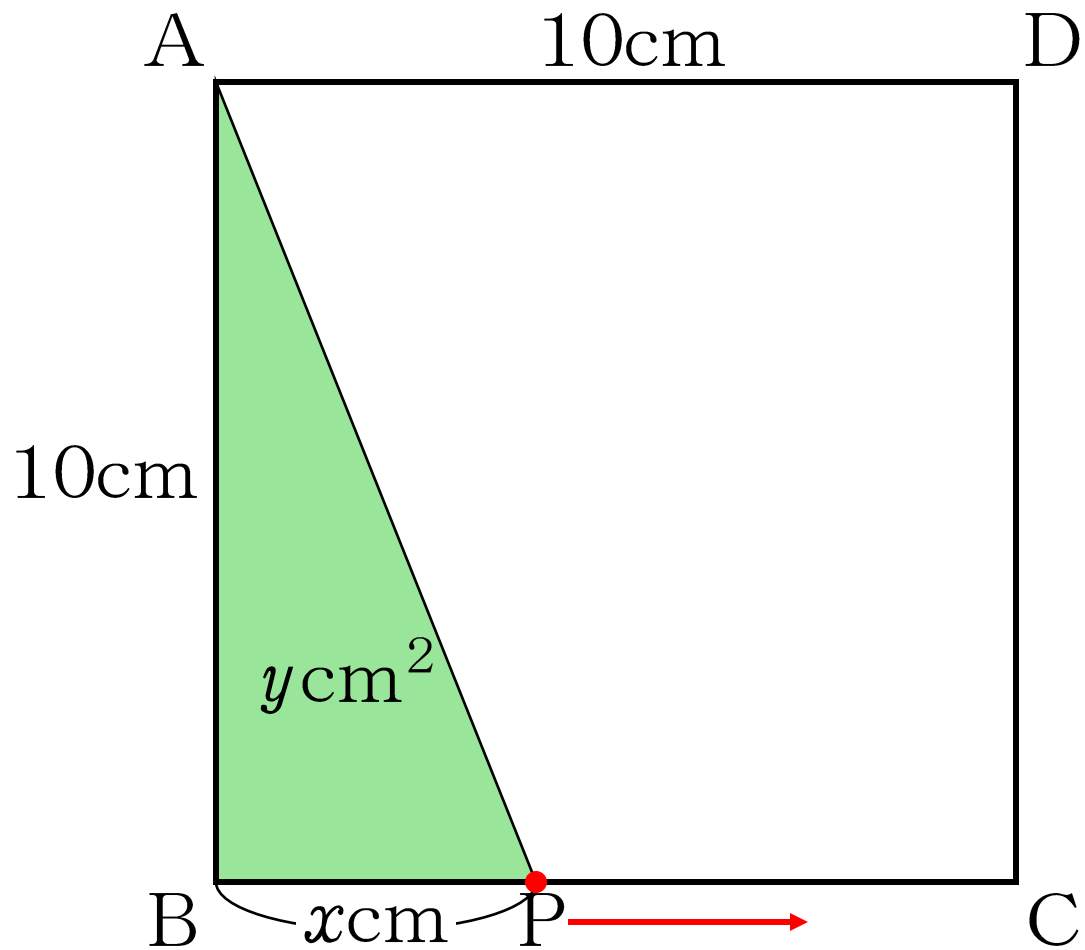
$x$

$y$

《P102 章末問題 3》

(1)

(2)



## 《P102 章末問題 4》

切り取った銅板の重さを  $x$  g、面積を  $y$  cm<sup>2</sup> とすると、厚さが一定の銅板だから、切り取った銅板の面積は、その重さに比例するので、  
と表される。

銅板の面積が 150 cm<sup>2</sup> のとき、重さが 4 g なので、

したがって、

この式の  $x$  に、(イ)の重さを代入すれば、面積を求めることができる。